

はばたけ 鳥羽人

Vol.11



「とばみかん」を栽培、販売している

前川 茂さん
(浦村町)

人工的な栽培でなく、 自然な栽培がモットーです

一切の化学肥料を使わず、有機質肥料や資材をたっぷり使った「とばみかん」の栽培を始めて約30年の前川茂さんにお話を伺いました。

鳥羽でみかん栽培を始めたきっかけは？

鳥羽周辺には、みかんで有名なところがたくさんありますから、鳥羽でも良いみかんができると思って始めました。「とばみかん」のセールスポイントは？

結果として「みえの安心食材」にも認定されましたし、味も好評をいただきました。味もどんなときにやりがいを感じますか？

みかんを地元の朝市に出してもらったり、とばーがーの食材に使ってもらったりと、みかんを通じて地域のみなさんと親しくなれたときです。

これからの抱負は？

農薬を減らせれば見栄えは悪くなつて、商品としての競争力は落ちますが、極限まで減らせるよう挑戦し続け、「とばみかん」の名をもっと広めていきたいですね。

C lose-up

クローズアップ

あなたも登場してください。

【連絡先】総務課広報情報係 ☎01114

「はばたけ鳥羽人」では、地域で活躍されているかたを、「フレフレーとばっ子」では、市内のスポーツ少年団で頑張っているこどもたちを紹介します。



全力集中！全員野球

鏡浦スポーツ少年団

フレフレーとばっ子

Vol.11

鏡浦スポーツ少年団は、平成14年にスポーツ少年団として登録されました。現在は、男11人、女3人の計14人が所属しており、平日は火曜・木曜日の午後6時から、土曜・日曜日は午前9時から鏡浦中学校グラウンドで練習を行っています。団員も小学1年生から随時募集しています。

昨年は、市民体育大会や鳥羽LC旗争奪少年少女球技大会で優勝するなど、団員は少ないながらも「全力集中！全員野球」の精神で熱心に練習に取り組んでいます。

監督の服部吉樹さんは「仲間を思いやること、誰かがミスをしてそれを責めずに励まし助け合いながら、みんなで一つのことに向かって取り組むことの大切さを伝えていきたい」と語ってくれました。

今月で卒団となる小学6年生の服部洋代さんは、「三重県1位のチームに勝ったことが思い出です」、松井楓さんは、「バッティング練習が楽しかったです」、里中公祐くんは、「市民大会で勝ったことが印象に残っています」と話してくれました。

KIDS
photograph

や
あ
ま
え
っ
っ
こ
こ



お父ちゃん、
動物園につれてってください♡

りず ちゃん
川原 有雛 ちゃん
平成21年2月10日生まれ (答志町)



お外で遊ぶのが大好きです★

かよ ちゃん
村田 かよ ちゃん
平成21年2月8日生まれ (菅島町)



☆ヤンちゃな皇太子☆
もお～すでに大暴走中(笑)!!

ほまれ ちゃん
櫻井 誉 ちゃん
平成21年1月27日生まれ (安楽島町)



いつも笑いと笑顔をありがとう!!

なおき ちゃん
野村 尚生 ちゃん
平成21年3月31日生まれ (相差町)



いちご大好き♪ 桃菜です♡

ももな ちゃん
平山 桃菜 ちゃん
平成21年2月14日生まれ (三丁目)



いつも家族みんなを癒してくれて
ありがとう

とうご ちゃん
奥村 藤吾 ちゃん
平成21年2月14日生まれ (畔蛸町)

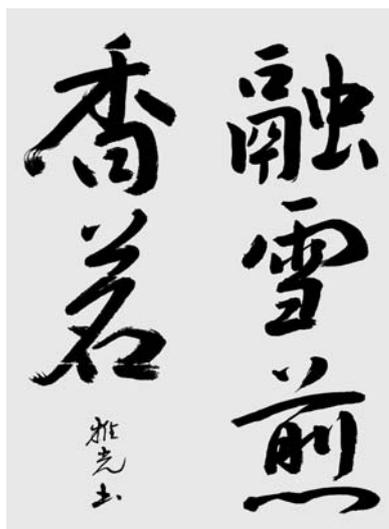
満1歳になる元気なお子さ
んの写真 (デジタル画像も
可) に20文字以内のメン
トを添えて、誕生日までに
広報情報係へお送りくださ
い。



加藤素子

加藤素子

新入生の方であるが、基本が出来
ていて、力強い線質の持主である。
上品な方であるが、心根がしっかり
としてみえるのが字に現れている。



山下雅光

雅光

「雪を融かして香茗を煎る」の行書
作品で、潤と渴の変化が求められる。
香茗のカスレがよくきいている。
熱心な方で、草書も極めて欲しい。



書道

☐☐
☐☐@
☐☐
☐☐Re
☐I